

4 上伊那地域

＜地域環境特性＞

- ・ 南アルプス西部には、中央構造線が直線的な地形として現れ、日本列島の土台となった付加体*の様子や山脈の成り立ちを見ることができ、日本ジオパーク*に認定されています。
- ・ 中央アルプス・塩嶺王城・三峰川水系・天竜小渋水系の各県立自然公園を有し、また、光前寺や羽広、権兵衛峠が郷土環境保全地域に指定され、郷土的・歴史的な景観が保全されています。
- ・ 辰野のホタル発生地・中央アルプス駒ヶ岳・高遠のコヒガンザクラ樹林などの県天然記念物のほか、コマウスユキソウ・ミヤマシジミなど貴重な動植物が生息し、生物の多様性が保全されています。
- ・ 野生動物の高山帯等への分布拡大やアレチウリなどの特定外来生物の侵入により、従来の生態系とは異なる変化が懸念され、人々の暮らしにも影響が及んでいます。
- ・ 伊那市西箕輪地区が県下で初めて景観育成特定地区*に指定され、また、天竜川が形づくる河岸段丘に美しい山林や田園地帯が広がり、豊かな自然を活かした小水力発電や太陽光、バイオマスエネルギーなど自然エネルギーの活用に向けた取組が進められています。

＜実施施策＞

(1) 生物多様性の保全と恵みの活用

- ・ 南アルプスにおけるジオパーク活動、ユネスコエコパーク*登録及び世界自然遺産*登録に向けた取組を支援します。
- ・ 自然公園の保護と適正な利用を確保するとともに、自然保護レンジャーによる活動や多様な団体との交流等を通じ、希少野生動植物の保護や自然の恵みの活用など、生物多様性に係る意識の啓発を推進します。
- ・ 野生鳥獣による被害を防ぐため、動態調査を進めるとともに、狩猟者・農業従事者が連携した地域ぐるみの捕獲など、総合的な野生鳥獣対策を推進します。
- ・ 多様な森林の造成などにより、水源涵養機能や二酸化炭素吸収源の増進に努めます。
- ・ 地域資源を活かした観光振興や交流を深めるため、南アルプス国立公園・中央アルプス県立自然公園などの優れた自然環境の維持・管理を支援します。



南アルプスジオパークガイド



自然保護レンジャー

(2) 自然エネルギーの活用と事業者の取組への支援

- ・ 上伊那地域自然エネルギー普及協議会等の活動を支援し、小水力や太陽光など自然エネルギーの導入や利用の促進を図ります。
- ・ 環境負荷の小さい燃料である木質ペレット*の普及等を図るなど、バイオマスを活用した再生可能エネルギーの導入を促進します。
- ・ 加工組立型の産業が集積していることから、環境保全のための技術力の向上や、生産過程における環境負荷の削減に対する支援を推進します。



侵入防止柵（防護ネット）設置



小水力発電（伊那市）



ペレットストーブ

(3) 水環境の保全と景観育成

- ・ 地域を潤す良質で豊富な水資源の保全対策を推進します。
- ・ 良好な水環境を保全するため、下水道などによる生活排水の処理を促進するとともに、水質の常時監視や廃棄物の適正処理・再資源化などを推進します。
- ・ 農業用水路、溜め池などの整備に関し、身近な自然にふれあうことができるよう、生態系や景観に配慮した方法での施工を推進します。
- ・ 景観育成特定地区などにおける地域の美化や景観づくりに関する住民主体の活動を支援し、協働による地域づくりを推進します。



特定外来生物(アレチウリ)の駆除(伊那市)